

## 沖縄戦

担当教員 吉浜 忍

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

沖縄戦は沖縄の歴史にとって欠くことのできない出来事である。それだけに現在でも沖縄戦の影響が沖縄の人びとの心や沖縄の社会に色濃く残っている。基地問題、教科書問題、歴史認識問題はその象徴である。この講義では沖縄戦を具体的・体系的に学ぶ。内容は、「授業の展開計画」に示した通りであるが、大まかに言えば沖縄戦の実相や教訓、戦争の不条理、さらに継承の現実と課題である。こうした体系的な沖縄戦を学ぶことで、沖縄戦の知識・理解、認識、問題意識を深める。講義は抽象的・理論的な学びではなく、具体的な事例を通して、本質に迫るという学びの方法をとる。そのためには具体的な事例や一次資料を教材化したプリントを活用する。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス(沖縄戦の「記憶」とは)
2	沖縄戦への道(皇民化教育、同化政策)
3	第三十二軍(日本軍)の沖縄配備(要塞化した沖縄、沖縄作戦、日本軍の沖縄人観)
4	沖縄戦の経過(十・十空襲から降伏調印)
5	地域の沖縄戦①(中部の沖縄戦)
6	地域の沖縄戦②(南部の沖縄戦)
7	地域の沖縄戦③(北部の沖縄戦)
8	地域の沖縄戦④(宮古・八重山・久米島の沖縄戦)
9	沖縄戦の諸相①(学徒隊・防衛隊など根こそぎ戦場動員)
10	沖縄戦の諸相②(住民虐殺、「集団自決」、障害者やハンセン病患者の沖縄戦など)
11	沖縄戦の諸相③(御真影の末路、慰安所、沖縄と本土決戦など)
12	収容所から帰村(ゼロからのスタート)
13	沖縄戦の継承①(ヒトからモノへ)
14	沖縄戦の継承②(「記憶」から「記録」へ)
15	まとめ
16	テスト

### 【履修上の注意事項】

- (1) 講義で毎回配布するプリントがテキストになるので欠席しないこと。
- (2) 登録上限数を上回った場合は、学科・学年を問わず抽選する。

### 【評価方法】

- ①出席・態度・意欲 10点  
 ②課題レポート 10点  
 ③テスト点 80点  
 ①+②+③=100点満点で評価する。

### 【テキスト】

講義で、毎回テキストとして自作プリント(一回の講義で2~5枚)を配布する。

### 【参考文献】

参考文献はプリントに表記する、もしくは講義の中で適宜紹介する。

## 沖縄の観光

担当教員 上江洲 薫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

観光は基本的に人と場所に関する現象だと言われている。つまり、観光はレジャーやレクリエーションを主目的に旅行したさいの、一時的滞在や移動に発生する現象ととらえることができる。本講義の目的は、ホスト側の視点に立ち、受け入れ側の問題や課題を認識し、その対応策を考える能力を身につけることである。したがって、本講義では、観光客の受け入れ側である観光地で展開される自然的・社会的・経済的な現象を総合的に検討し、観光地特有の問題・課題や観光地づくりについて概説する。

### 【授業の展開計画】

1. 講義説明
2. 沖縄観光の展開と観光客特性
3. 観光資源（自然・人文資源、世界遺産、課題と対応）、討論「沖縄にカジノは必要か」
4. 観光産業①宿泊施設Ⅰ（宿泊施設の分類、宿泊施設の現状と課題）
5. 観光産業①宿泊施設Ⅱ（ホテルの雇用、外資参入、インバウンド観光、エコホテルなど）
6. 観光産業②運輸業（航空業、レンタカー、観光バス、クルーズなど）
7. 観光産業③ダイビングサービス（事業者特性、海面利用問題）
8. 観光産業④旅行業
9. 観光産業⑤テーマパーク、エステ・スパ
10. 観光による影響①経済的影響、自然的影響
11. 観光による影響②社会・文化的影響、討論「エイサーを観光資源化していいのか」
12. 外部講師による講話を予定：ホテル業界や航空業界などから
13. 持続可能な観光①エコツーリズム
14. 持続可能な観光②グリーンツーリズム、ウエルネス、健康保養観光
15. 観光政策：沖縄観光振興計画と振興事業（リゾートウェディングなど）
16. 試験

### 【履修上の注意事項】

本講義は観光地の紹介や楽しみ方を説明しないため、そのことを理解した上で受講して下さい。観光行政や地域振興などに興味がある学生を広く歓迎する。途中退席や私語を繰り返す受講生は大きな減点とする。初回から出席を取る。

### 【評価方法】

成績評価は出席(30点)や試験(40点)、講義内容に関する感想や講義への参加姿勢(30点)で判断する。

### 【テキスト】

特に指定はない。毎回レジュメを配布する（ファイルに綴じて毎回持参して下さい）。

### 【参考文献】

九州経済調査協会編（2003）『新しい観光・集客戦略 2003年版 九州経済白書』。宮城博文（2013）『沖縄観光とホスピタリティ産業』晃洋書房。

## 沖縄の観光

担当教員 一住 直広

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の基地問題A

担当教員 一屋良 朝博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の基地問題B

担当教員 -内海（宮城）恵美子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の基地問題B

担当教員 石川 朋子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の経済

担当教員 仲地 健

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

沖縄経済の現状を理解し、自立へ向けた課題と展望を考える。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	講義内容と講義の進め方、成績評価方法を説明する。
2	米軍基地と沖縄経済①
3	米軍基地と沖縄経済②
4	米軍基地と沖縄経済③
5	米軍基地と沖縄経済④
6	沖縄振興策①
7	沖縄振興策②
8	沖縄振興策③
9	沖縄振興策④
10	沖縄県の財政状況
11	中間試験
12	沖縄観光の課題と展望①
13	沖縄観光の課題と展望②
14	沖縄観光の課題と展望③
15	沖縄観光の課題と展望④
16	期末試験

### 【履修上の注意事項】

私語は厳禁。

### 【評価方法】

期末試験により評価する。

### 【テキスト】

特に指定しない。

### 【参考文献】

沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄経済の課題と展望』那覇出版社、1998年。  
大城郁寛『図説 沖縄の経済』東洋企画、2007年。

## 沖縄の芸能

担当教員 佐々木和子(9回)、伊藤幸太(6回)

対象学年 1年

開講時期 前期

単位区分 選択

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本講義では、祭りのビデオ映像や歌三線の実演などを通して、琉球諸島の村々の祭りや行事で歌われる「歌謡」と、身振りや手振りなど身体の動きを中心とする「芸謡」（芸能歌謡）に分けて解説し、沖縄の暮らしの折々に出会う庶民の芸能文化に関心をむける機会としたい。沖縄の民俗芸能の基礎知識を学び、「歌謡」では、自然、習俗、歴史、文化などの視点から、特に自然(植物)と歌謡の問題について考える。また、「芸謡」では、歌三線を中心とする琉球音楽と歌詞の内容について考えることとする。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	琉球諸島の「歌謡」・「芸謡」の諸相、琉球歌謡の分類
2	琉球(奄美・沖縄・宮古・八重山)の「歌謡」の伝承地域、その歴史的背景
3	琉球諸島の「歌謡」の特質
4	祭祀と「歌謡」
5	奄美の「芸謡」
6	沖縄の「芸謡」
7	宮古の「芸謡」
8	八重山の「芸謡」① ユンタ・アヨー・ジラバ
9	八重山の「芸謡」② 節歌
10	八重山の「芸謡」③ トゥバラーマ・スンカニ
11	「芸謡」と「民俗芸能」、村々の祭に見る芸能と伝承の場
12	「歌謡」に見る植物①
13	「歌謡」にみる植物②
14	沖縄の芸能の全体像、「民俗芸能」・「宮廷芸能」・「商業芸能」について
15	琉球諸島の芸能の特徴と現在。未来の琉球芸能の可能性
16	テスト

### 【履修上の注意事項】

毎回、講義で発見したこと、感想、質問などを簡単に書いて提出すること。出欠票をかねる。

### 【評価方法】

期末のテストによる。遅刻、欠席の多い者は単位を認めない。

### 【テキスト】

テキストは特になし。必要に応じて資料を配付する。

### 【参考文献】

必要に応じて、その都度指示する



## 沖縄の言語

担当教員 仲原 穰

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の考古学

担当教員 上原 静

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

考古学は物質的資料を研究することによって、過去の人々の生活行動様式、変遷を研究する学問である。本講義では、沖縄および先島に展開した先史文化を周辺地域とも関連づけながら概観し、その特質を紹介する。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	考古学とはどんな学問か、考古学の研究方法
2	沖縄人はどこから来たか
3	南西諸島の旧石器遺跡
4	沖縄諸島の新石器時代
5	縄文土器の出現とその変遷
6	先史時代の交流と交易
7	先史・歴史時代における人の住まい
8	先史・原史時代人の食材と調理
9	グスク時代の社会と文化
10	グスク遺跡出土の最初の文字
11	発掘された琉球王朝の居城
12	沖縄の世界文化遺産
13	宮古・八重山諸島の先史、原史時代
14	沖縄の海底遺跡、遺跡見学、映像による補講等
15	テスト
16	

### 【履修上の注意事項】

3分の2以上出席すること。  
遅刻・欠席は減点の対象とする。

### 【評価方法】

テストを行う。

### 【テキスト】

### 【参考文献】

## 沖縄の自然環境 I

担当教員 仲田 栄二

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の自然環境Ⅱ

担当教員 仲田 栄二

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の社会

担当教員 具志堅 邦子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本講義では、沖縄の社会の構造を捉える。それとともに沖縄の社会のもつ可能性を探る。

### 【授業の展開計画】

01. ガイダンス
02. はまうりとひなまつり
03. 沖縄の社会の構造
04. 神話的思考と歴史的思考
05. 観察するものを観察する
06. ナショナリズムと沖縄
07. ウチナーンチュの誕生
08. 連結都市圏の誕生と第二のシマ社会
09. コミュニティ
10. 守姉
11. 沖縄における〈非時間性〉
12. 沖縄らしさを問う
13. トボスとエイサー
14. 太鼓型エイサーと沖縄らしさ
15. 新しいことが古いと感じられるパラドックス
16. テスト

### 【履修上の注意事項】

毎回の受講の積み重ねが重要です。なお講義時に配付する資料は、次回に持ち越して配布しません。

### 【評価方法】

出席、リアクション・ペーパー、テスト等から総合的に評価する。

### 【テキスト】

特になし。必要に応じて資料を配布する。

### 【参考文献】

講義時に随時紹介する。

## 沖縄の宗教

担当教員 加治 順人

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

本講義では、沖縄で信仰されている様々な宗教的事象を取り上げ、それがいつごろ始まって、どのような目的で行われ我々の生活に関係しているのかを概説していきます。前半は現在沖縄で行われている伝統的な信仰を取り上げ、後半は外国から入ってきた宗教について説明します。

### 【授業の展開計画】

1週目	登録・講義内容の説明	8週目	沖縄の年中行事
2週目	沖縄固有の信仰(セヂとマブイ)	9週目	外来宗教(仏教)
3週目	沖縄固有の信仰(ユタ)	10週目	外来宗教(神社)
4週目	沖縄固有の信仰(ノロ)	11週目	外来宗教(道教)
5週目	沖縄固有の信仰(火の神)	12週目	外来宗教(キリスト教)
6週目	沖縄固有の信仰(位牌)	13週目	外来宗教(新宗教)
7週目	沖縄固有の信仰(御嶽信仰)	14週目	レポート提出

### 【履修上の注意事項】

抽選となった場合は、4年次より優先し抽選する。

### 【評価方法】

試験は行わず、出席とレポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

なし

### 【参考文献】

講義ごとにその都度紹介する。

## 沖縄の政治

担当教員 宮城 修

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

戦後のアメリカによる沖縄統治時代、さまざまな権利が制限される中で沖縄住民が自治権の獲得や日本への施政権返還（「日本復帰」）を求めて行動した一連の政治過程を分析することで「沖縄の政治」の特徴について考える。

### 【授業の展開計画】

沖縄・アメリカ・日本の公文書、政治家の日記、新聞などを使って多角的に検討する。

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス
2	新聞を読む／個別テーマ：忘れられた島
3	新聞を読む／個別テーマ：島ぐるみ闘争
4	新聞を読む／個別テーマ：復帰協の発足
5	新聞を読む／個別テーマ：教公2法闘争
6	新聞を読む／個別テーマ：主席公選（上）（決定過程）
7	新聞を読む／個別テーマ：主席公選（下）（1968年体制）
8	新聞を読む／個別テーマ：2・4ゼネスト
9	新聞を読む／個別テーマ：国政参加選挙
10	新聞を読む／個別テーマ：コザ騒動
11	新聞を読む／個別テーマ：毒ガス移送
12	新聞を読む／個別テーマ：沖縄返還交渉
13	新聞を読む／個別テーマ：屋良建議書
14	新聞を読む／個別テーマ：沖縄振興体制
15	新聞を読む／個別テーマ：米軍再編と沖縄
16	予備日

### 【履修上の注意事項】

本講義は出席確認を兼ねて毎回感想（400字程度）を提出してもらう。個別テーマに入る前に、時事解説するので日々新聞に目を通しておくこと。

### 【評価方法】

出席状況、期末レポートなどを参考に総合的に評価する。

### 【テキスト】

特にテキストはないので、毎回関連資料を配付する。

### 【参考文献】

適宜紹介する

## 沖縄の地理

担当教員 小川 護

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

琉球列島や沖縄本島をはじめとする、亜熱帯地域「沖縄」における自然環境と人々の生活、文化、産業などについて、地理学の立場からアプローチを行う。講義は郷土「沖縄」が理解しやすいように、パワーポインターやVTRなどの映像資料を活用しながらやさしく行う予定である。

### 【授業の展開計画】

1. 沖縄の地理的位置とその概観
2. 沖縄の自然環境-地形と土壌
3. 沖縄の気候
4. 沖縄の農業
5. 沖縄の鉱工業
6. 沖縄の水産業
6. 沖縄の商業と交通
7. 沖縄の都市地域
8. 沖縄の村落地域
9. 沖縄の人口移動と移民
10. 離島地域の自然と人々の暮らし(宮古島)
11. 離島地域の自然と人々の暮らし(八重山)
13. 沖縄の地名と集落
14. 沖縄の基地問題
15. これからの沖縄

### 【履修上の注意事項】

沖縄の地図を用意すること(市販のものでかまわない)。

### 【評価方法】

出席状況(講義回数分の1/3以下は単位不可)と数回のレポート提出および試験で総合的に判断する。

### 【テキスト】

とくになし。

### 【参考文献】

仲田邦彦(2009)沖縄県の地理、編集工房東洋企画。  
中山満, 堂前亮(1983)沖縄の地理 島の自然と生活 新星出版社  
シリーズ: 日本の地誌 10 九州・沖縄 朝倉書店



## 沖縄の地理

担当教員 崎浜 靖

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

本講義では、沖縄の自然・文化に関わる地理的事象について、島嶼地理学の視点から講義を進める予定である。とくにここ沖縄では、亜熱帯特有の特異な自然環境のなかで、それに適応しながら多様な文化が生み出されている。本講義では、人々の暮らしの変化から、自然と人間の関係、そして「島嶼」としての「沖縄」を考えてみたい。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	沖縄の地理的位置
2	沖縄の自然地理①－気候・気象－
3	沖縄の自然地理②－地形・地質・土壌－
4	沖縄の自然地理③－水文環境と水利用－
5	沖縄の文化地理①－村落の景観－
6	沖縄の文化地理②－村落の社会構造－
7	沖縄の文化地理③－村落空間と地名表記－
8	沖縄の社会地理①－都市空間の形成－
9	沖縄の社会地理②－都市への人口移動－
10	沖縄の社会地理③－離島の地域構造－
11	宮古諸島の地誌①
12	宮古諸島の地誌②
13	八重山諸島の地誌①
14	八重山諸島の地誌②
15	大東諸島の地誌
16	試験

### 【履修上の注意事項】

地図帳を持参して講義に参加すること。出席と課題を重視するので注意すること。

### 【評価方法】

期末試験と課題点、出席状況により総合的に判断する。

### 【テキスト】

テキスト：毎回、プリントを配布する。

### 【参考文献】

参考文献：参考文献は、講義中に適宜紹介する。

## 沖縄の地理

担当教員 上原 富二男

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の美術・工芸

担当教員 佐久本 邦華

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

沖縄の工芸の中で、沖縄県の立派な産業である伝統的染織物産業の現状を理解し、今後の沖縄の染織産業として求められるものを学ぶことをねらいとしている。そのため、まず琉球王朝期の王族・士族のみが着用を許された紅型衣装について歴史的背景を学び、ならびにデザイン手法の確認を行う。その際、定説の誤りなどについて触れ、科学的視点を持った研究の大切さを学んでもらう。次に、昭和60年代の記録映像を見てもらう。最後に現在の伝統（染織）産業の実態について統計資料などをもとに理解を深めると共に若者の産業としての可能性を考える。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	沖縄の地理、歴史がもたらした沖縄工芸の歴史について
2	神女の守護する島Ⅰ（琉球開闢、オナリ信仰、巫女体系） 久米島君南風の画像・動画
3	神女の守護する島Ⅱ（琉球開闢、オナリ信仰、巫女体系） ノロ衣装
4	神女の衣装 中世（13～16世紀）・近世（17～19世紀）
5	「おもろさうし」に描かれた神衣・・・「ゑがきみはね」
6	礼服の制定・・・「袞衣」と「阿志阿計古毛子」／久米島の「阿志阿計古毛子」
7	形付（紅型）の型紙・型紙のサイズ・紙の種類
8	琉球形付（紅型）型紙のコンピュータ・グラフィックス援用による幾何学的考察
9	クライス・ジェオメトリ理論（中世のヨーロッパ建造物・彫刻・絵画）
10	コンピュータ・グラフィックスを用いた形付（紅型）衣装の構図解析（衣装サイズ・文様配置）
11	西洋、日本、沖縄の絵画的空間の違いについて
12	形付（紅型）・琉球藍・芭蕉布のビデオ鑑賞
13	統計データに見る沖縄県の伝統衣類産業Ⅰ 紅型/芭蕉布/宮古上布・久米島紬・琉球絣・石垣織物
14	統計データに見る沖縄県の伝統衣類産業Ⅱ 紅型/芭蕉布/宮古上布・久米島紬・琉球絣・石垣織物
15	形付と「紅型」という名前について
16	テスト

### 【履修上の注意事項】

授業の効果を考えて、講義順序を入れ替える場合があります。おしゃべりには、厳しく対処します。

### 【評価方法】

テストは筆記形式になります。問題数は4問程度で、1問につき600～800文字程度書いてもらいます。配布物などは持ち込み不可。教科書は見ても大丈夫です。

### 【テキスト】

『紅型に秘された祈り ～今、明かされる紅型の秘密～』、佐久本邦華・又吉光邦、沖縄教販。

### 【参考文献】

『琉球服装史』（嘉数律子）。鎌倉芳太郎の著作物。授業で配布するプリント類。「紅型型紙の幾何学的考察」「沖縄県の伝統的衣類産業の一考察」「古琉球紅型の型紙の外寸と名称および館蔵（大黒屋型）との比較」など <http://ir.okiu.ac.jp/handle/2308/357>、<http://ir.okiu.ac.jp/handle/2308/252>を参照。

## 沖縄の美術・工芸

担当教員 花城 郁子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

琉球王国、沖縄の近・現代美術を通して、外部からの影響により内になる気づきをどのように表現してきたかを、美術作品を通して学ぶ。リアクション・ペーパーを描く・書くことで、自身の表現力を問うと共に沖縄の文化を創造・継承していくのは自分たちである意識を高め、沖縄で表現する意味を考える場とする。

### 【授業の展開計画】

- 01: ガイダンス
- 02: 琉球王朝時代の絵画-王の影・御後絵
- 03: 琉球王朝時代の絵画-国家貿易・贈答品としての鑑賞絵画
- 04: 王権の証、ムラの守神、民衆と同居するシーサー
- 05: 作品鑑賞-県立博物館・美術館、中間レポート
- 06: 沖縄県立博物館・美術館の歴史
- 07: 戦前の画家達-名渡山愛順と大嶺政寛（沖縄を背負う）
- 08: 戦争は画家をどう変えたか-美術村「ニシムイ」
- 09: 戦争画-レオナルド・藤田を通して
- 10: 沖縄の精神文化-岡村吉右衛門の眼差し
- 11: 岡本太郎が観た沖縄-沖縄文化論より
- 12: 絵画鑑賞法-1
- 13: 絵画鑑賞法-2
- 14: 絵画鑑賞法-3
- 15: まとめ
- 16: レポート形式の試験

### 【履修上の注意事項】

私語、雑談、遅刻禁止。美術に興味を持ち、表現とは何かを考え、理解しようという意欲を持った学生の参加を希望。毎講義では小演習としてリアクションペーパーを書く、描く。  
各自準備するもの：色鉛筆、マーカー、ハサミ、ノリ、セロテープなど。  
美術館や画廊などの展示により、「作品鑑賞」の日程が前後する可能性がある。

### 【評価方法】

リアクション・ペーパーと中間レポート、試験レポートで総合的に評価。

### 【テキスト】

適宜に配布。

### 【参考文献】

個々人で美術館、画廊、野外展示など美術作品展示空間に行き作品鑑賞、及び映画やテレビなどの美術関係の番組鑑賞に勉める。

## 沖縄の文学

担当教員 浜川 仁

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の民俗

担当教員 波平 エリ子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 沖縄の民俗

担当教員 三上 智恵

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

「汝の立つところを深く掘れ。民俗学の祖・柳田国男や沖縄学の父・伊波普猷が好んで使った言葉です。ところで「あなたはどこの人ですか？」自分の足元を知る人は少ないものです。まずはこの問いに向き合うところから、自分を取り巻く文化や人々の営みを視る目が養われていくのです。私は民俗学とは「人々を偏見から自由にし、ひいては文化や民族や宗教を理解するところから戦争をなくす力を持つ学問」と信じています。民俗学の成立や時代背景と沖縄民俗学の基礎を学び、自文化と他文化両方に敬意を持つ視座を獲得したいと願っています。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	汝の足元を知る 「あなたはどこの人？」のアンケートから立ち位置を考える
2	民俗学の祖 柳田国男の思想と遠野物語
3	沖縄学の父 伊波普猷と日琉同祖論・P音考
4	人類館事件から 博物館まで～文化を視る目とオリエンタリズム
5	沖縄のシャーマニズム 1 ノロの世界
6	沖縄のシャーマニズム 2 ユタの世界
7	沖縄のシャーマニズム 3 村落祭祀の中のノロとユタ
8	沖縄のシャーマニズム 4 大神島の女性祭祀者の世界
9	沖縄の神々 1 来訪する神々 アカマタ・マユンガナシ・ミロク・ンナフカ
10	沖縄の神々 2 定住する神 アマミキヨ・天人・土帝君・天妃・媽祖信仰
11	沖縄の神々 3 異形の神 ダドユダ・南島（フェーヌシマ）オニ
12	ジュゴンの文化 1
13	ジュゴンの文化 2
14	エイサーの起源と袋中上人
15	大神島特別講義 1 ライフヒストリー
16	大神島特別講義 2 産育習俗と死

### 【履修上の注意事項】

貴重なビデオなどの教材や、講義室でしか話せない（テキスト化できない）話も多く含まれることから、私語やメール、緊急時以外の途中退室などほかの学生の講義の集中を妨げる行為が見受けられた場合は講義室から退室していただきます。

### 【評価方法】

出席日数とレポートの評価

### 【テキスト】

その都度資料を配付する

### 【参考文献】

その都度紹介する

## 沖縄の民俗

担当教員 城間義勝

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

民俗とは、私たちの暮らしのなかで伝承される風習（ならわし・しきたり）のことをいいます。それらは教科書などの書物から習うものではなく、見たり、聞いたり、経験することで覚え、次の世代へと語り継いでいきます。本講義では、沖縄各地で語り継がれている民俗事象を紹介しながら、そこに住む人々の多様な生活文化を見ていきたいと思ひます。また、自分が住んでいる地域や家族との関係を見つめ直し、コミュニケーションの大切さを知っていただきたいと思ひます。

### 【授業の展開計画】

1 週目	講義内容説明	9 週目	年中行事②
2 週目	民俗学と沖縄研究	10 週目	ビデオ
3 週目	村落①（シマ）	11 週目	年中行事③（綱引き）
4 週目	村落②（聖地）	12 週目	人生儀礼①
5 週目	村落③（聖地）	13 週目	人生儀礼②
6 週目	家・屋敷	14 週目	シマを歩く①
7 週目	家族と親族	15 週目	シマを歩く②
8 週目	年中行事①	16 週目	来訪神祭祀

講義終了時にレポートを提出。

- ・15週ある講義の中で、興味を持ったテーマを1つ取り上げ、レポートを作成する。
- ・選んだテーマに関して、必ず親・祖父母・地域の人から話を聞く。
- ・他府県出身の生徒や留学生は、出身地の行事と沖縄の行事を比較してもよい。
- ・パソコン書き（手書き不可） A4サイズ2～3枚ほど（上限なし）。

以下の項目に沿って、レポートを作成する。

- ①学部・学科・学籍番号・名前
- ②テーマ
- ③選んだ理由
- ④報告（聞き取りしたこと）
- ⑤まとめ（感想・これからの発展）
- ⑥参考文献

### 【履修上の注意事項】

私語は慎む。

### 【評価方法】

出席状況。講義終了時にレポートを提出。

### 【テキスト】

テキストはなし。講義毎にレジュメを配布する。

### 【参考文献】

参考図書は講義毎に随時、紹介する。



## 沖縄の民俗

担当教員 儀間 淳一

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

沖縄では現在でも先人たちから受け継がれてきた行事や習俗に接する機会が多いが、それと同時に今では見ることのできない習俗も少なくない。

本講義では、このような行事や習俗、日々の暮らしを支える生業などについて身近な事例とともに映像等を活用しながら紹介し、これらの由来や変遷、特徴などについて考える。

本講義をきっかけに出身地や住んでいる地域など自分の足もとを見つめ直してほしい。

### 【授業の展開計画】

1週目	民俗とは	9週目	祖先崇拜
2週目	沖縄の村落①（地理的環境）	10週目	ユタ
3週目	沖縄の村落②（社会と経済）	11週目	外来の信仰①
4週目	沖縄の村落③（信仰と祭祀組織）	12週目	外来の信仰②
5週目	年中行事①	13週目	仕事と暮らし①
6週目	年中行事②	14週目	仕事と暮らし②
7週目	ひとの一生②	15週目	仕事と暮らし③
8週目	ひとの一生①		

### 【履修上の注意事項】

私語は慎む。講義中むやみに教室を出入りしない。

### 【評価方法】

出席状況、試験、レポートを総合的に評価する。

### 【テキスト】

特になし。適宜レジュメを配布する。

### 【参考文献】

講義で随時紹介する。

## 沖縄の民話

担当教員 禰 晴一郎

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

沖縄の民話について幅広く学ぶ。

### 【授業の展開計画】

1. 「沖縄の民話」概要、前期講義概要の説明
2. 民話研究の歴史、民話と伝承話、分類
3. 神話 I
4. 神話 II
5. 伝説 I
6. 伝説 II
7. 伝説 III
8. 昔話 I
9. 昔話 II
10. 昔話 III
11. 昔話 IV
12. 動物昔話 I
13. 動物昔話 II
14. 笑い話 I
15. 笑い話 II
16. まとめ、レポート提出

### 【履修上の注意事項】

日本文化学科の学生は、この講義ではなく後期の口承文芸学の講義の方を受けてもらいたい。

### 【評価方法】

出席状況（欠席5回の時点で単位は認められない）また、遅刻や欠席数により減点します。  
レポート提出

### 【テキスト】

特になし。資料は講義ごとに配布する。

### 【参考文献】

## 沖縄の歴史Ⅱ（近現代）

担当教員 伊敷 勝美

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

近現代の沖縄研究を学ぶうえでの基礎的な学習を行います。明治初期から日本復帰前後までを扱い、その時代の地域の動きや住民に焦点をあてていきます。時に講義のテーマのアウトラインをつかむため、新聞資料や映像資料等も使います。ダイナミックさと豊かさ、そして個性をもつ沖縄歴史の「見方」をさまざまな側面から捉えることができればと思います。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	廃藩置県前夜の沖縄
2	近代の諸改革と住民
3	移民①－沖縄からの戦前移民
4	移民②－国策移民
5	出稼ぎと金の卵（戦前）
6	沖縄戦への道
7	戦後引き揚げ①
8	戦後引き揚げ②
9	戦後復興と基地建設
10	都市の建設と特飲街①
11	都市の建設と特飲街②
12	エイサー
13	コザ「暴動」と住民
14	基地と毒ガス移送と住民
15	復帰前後の沖縄政策
16	テスト

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

レポートと試験の総合点に、出席状況を勘案して評価をします。

### 【テキスト】

毎回、講義資料を配布します。

### 【参考文献】

参考文献は、講義のなかで適宜紹介します。

## 沖縄の歴史Ⅱ（近現代）

担当教員 新城 俊昭

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

沖縄の歴史を学ぶ目的は、単に祖先の歩んできた足跡を知ることだけにとどまらない。抽象的・一般的な概念でまとめられた歴史像に、地域のより具体的に掘り下げられた歴史事象を照らしあわせることによって歴史の本質にせまるという、歴史観を培ううえでのもっとも重要な役割をも担っているのである。本講座では、琉球・沖縄の歴史から先人の経験を学ぶとともに、日本、アジア、そして世界の歴史をみる目を養っていきたいと考えている。

### 【授業の展開計画】

琉球王国の崩壊から現代までの沖縄の歴史と文化を、歴史的な出来事だけでなくヒト・モノにも焦点をあてながら学ぶ。毎時間テーマに沿って学習を展開し、課題を深く掘り下げて学ぶことにより歴史的な思考力を培い、沖縄人としてのアイデンティティの確立を図る。

週	授 業 の 内 容
1	琉球王国はどのように解体されたか～廃琉置県(琉球処分)。分島増約問題
2	沖縄県民は世替わりをどのように受け止めたか～旧慣温存策と沖縄県政
3	沖縄の民衆はどのように権利を獲得したか～人头税廃止運動。謝花昇と民権運動
4	ソテツ地獄とはどのような社会状況か～大戦景気とソテツ地獄。海外移民と出稼ぎ
5	十五年戦争はどのように始まったか～沖縄の皇民化政策。軍国主義の台頭と沖縄
6	日本はなぜ戦争を拡大させたか～戦時体制と県民の暮らし。標準語励行運動がもたらしたもの
7	日本はなぜアメリカと戦争をはじめたか～アジア太平洋戦争の勃発。沖縄と軍国主義教育
8	沖縄戦はなぜおこったか～軍事基地としての沖縄の役割。沖縄戦前夜(対馬丸事件・十空襲)
9	沖縄戦から何を学ぶか～住民犠牲の特徴。強制集団死の実態(ヒビチガマとシカガマ)
10	戦後の焼け跡から沖縄はどのように立ち上がったか～収容所から始まった戦後。米軍支配の実態
11	島ぐるみ闘争はなぜおこったか～軍用地の強制接収と島ぐるみ闘争。琉球政府の創設
12	沖縄住民はなぜ日本復帰を望んだか～基地被害の実態。ベトナム戦争と沖縄。祖国復帰運動
13	日本復帰で沖縄の何が変わったか～新生沖縄県。復帰三大事業と交通方法の変更。密約を暴く
14	21世紀の沖縄はどこへ向かおうとしているのか～復帰後の保革県政。現代の課題と基地問題
15	琉球・沖縄の歴史と文化のまとめ～沖縄歴史検定などを利用
16	学期末試験

### 【履修上の注意事項】

毎回のテーマの進捗状況によっては、扱うテーマを多少変更する場合もある

### 【評価方法】

毎時間の評価及び課題と試験の結果で評価する。試験は本講座で学んだ基礎知識の確認と、予め与えた課題から出題する。配分は毎時間の授業評価3割、課題3割、テスト4割。また、授業に取り組む姿勢や意欲も重視する。場合によっては加点・減点することがある。

### 【テキスト】

『教養講座 琉球・沖縄史』新城俊昭著（編集工房東洋企画発行）。『琉球・沖縄 歴史人物伝』新城俊昭著（沖縄学販発行）。他（プリントで配布または毎時間授業で紹介）

### 【参考文献】

『琉球・沖縄 歴史人物伝』新城俊昭著（沖縄学販発行）。他（プリントで配布または毎時間授業で紹介）

## 沖縄の歴史Ⅱ（近現代）

担当教員 恩河 尚

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

近現代（明治時代から戦後史）の沖縄歴史を通史的に概観する。その際、日本史や 東アジア史の動向も意識しながら、その中で沖縄という地域、あるいは沖縄人をどう位 置付けていけばよいのか留意したい。また、教員の一方向的な話にならないよう、努めて 学生さんたちとキャッチボールしながら（疑問点等の把握）、講義を進めていきたい。 そうすることによって、例えば、なぜ、沖縄県は歴史的に二度も設置されたのか、沖 縄戦の主要な舞台はどこか等、学生さん自ら沖縄歴史と対話できるよう、たえず実践的 な意味づけをしながら授業を展開したい。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	近代沖縄の前夜（牧志・恩河事件と島津斉彬）
2	琉球処分（廃琉置県）
3	旧慣温存（存統）と近代諸改革（新制度の導入）
4	沖縄移民の諸相
5	国家総動員態勢の確立（沖縄戦への道）
6	沖縄戦
7	戦後引き揚げ
8	沖縄戦後史
9	コザ市の誕生とコザ騒動（暴動）
10	祖国復帰－新生沖縄県の誕生
11	
12	
13	
14	
15	
16	

### 【履修上の注意事項】

沖縄の歴史Ⅰと通史的に行っているため、沖縄の歴史Ⅱの受講者は、沖縄の歴史Ⅰも 受講して欲しい。また、当然なことながら、講義外の私語等は厳禁であることに留意したい。

### 【評価方法】

### 【テキスト】

### 【参考文献】

## 沖縄の歴史 I (前近代)

担当教員 恩河 尚

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

前近代（先史時代から江戸時代）の沖縄歴史を通史的に概観する。その際、日本史や 東アジア史の動向も意識しながら、その中で沖縄という地域をどう位置付けていけばよいか留意したい。また、教員の一方的な話にならないよう、努めて学生さんたちとキ ャッチボールしながら（疑問点等の把握）、講義を進めていきたい。そうすることによって、例えば「首里城」であれば、学生さん自ら「首里城」を案内できるようなレベル に目標を設置し、たえず実践的な意味づけをしながら授業を展開したい。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	グスク時代と古琉球
2	大交易時代と古琉球
3	進貢貿易と大交易時代
4	首里城と東アジア社会
5	薩摩侵入
6	薩摩侵入の歴史的意義
7	間切と村
8	沖縄人の姓名について
9	沖縄の道 I (陸上交通)
10	沖縄の道 II (海上交通)
11	近代沖縄の前夜 (牧志・恩河事件と島津斉彬)
12	
13	
14	
15	
16	

### 【履修上の注意事項】

沖縄の歴史 II と通史的に行っているのので、沖縄の歴史 I の受講者は、沖縄の歴史 II も 受講して欲しい。また、当然なことながら、講義外の私語等は厳禁であることに留意したい。

### 【評価方法】

### 【テキスト】

### 【参考文献】

## 沖縄の歴史 I (前近代)

担当教員 新城 俊昭

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

沖縄の歴史を学ぶ目的は、単に祖先の歩んできた足跡を知ることだけにとどまらない。抽象的・一般的な概念でまとめられた歴史像に、地域のより具体的に掘り下げられた歴史事象を照らしあわせることによって歴史の本質にせまるといふ、歴史観を培ううえでのもっとも重要な役割をも担っているのである。本講座では、琉球・沖縄の歴史から先人の経験を学ぶとともに、日本、アジア、そして世界の歴史をみる目を養っていきたいと考えている。

### 【授業の展開計画】

旧石器時代から琉球王国崩壊までの沖縄の歴史と文化を、歴史的な出来事だけでなくヒト・モノにも焦点をあてながら学ぶ。毎時間テーマに沿って学習を展開し、課題を深く掘り下げて学ぶことにより歴史的な思考力を培い、沖縄人としてのアイデンティティの確立を図る。

週	授 業 の 内 容
1	沖縄人(ウチナーンチュ)はどこから来たか～旧石器時代のアジア・日本・沖縄を概観する。
2	貝塚は何を語っているか～沖縄貝塚文化の特徴と縄文・弥生文化との関係。
3	グスクはどのように誕生したか～按司と三山時代の形成。
4	琉球王国の誕生～尚巴志による三山統一。明との冊封・朝貢関係と王国の構造。
5	第二尚氏王統の誕生と琉球の繁栄～金丸のクーデター。尚真の中央集権政策。
6	琉球の大交易時代～東アジア・東南アジアを股にかけた琉球の大交易がもたらしたもの。
7	島津はなぜ琉球を侵略したか～幕府・薩摩と琉球の関係。その後の琉球と中国の関係。
8	薩摩の侵略で琉球はどう変わったか～琉球の検地と奄美諸島の分割。江戸使節の意義。
9	近世琉球の政治体制～羽時朝秀の政治改革。蔡温の政策。
10	薩摩支配下の進貢貿易～赤字に悩む進貢貿易。
11	農村の実態～土地制度と税制。農務帳に見る農村社会。
12	宮古・八重山の統治～人頭税は過酷な税制か。乾隆36年の大津波がもたらした影響。
13	琉球文化の特徴～イモの伝来と産業、近世の交通網、学問と文学の発達、美術工芸、芸能の発達
14	欧米船の来航～フランスの開国要求。ペリーの来航。通事・牧志朝忠にみる王国末期の琉球
15	沖縄の歴史と文化のまとめ～沖縄歴史検定なども利用
16	学期末試験

### 【履修上の注意事項】

毎回のテーマの進捗状況によっては、扱うテーマを多少変更する場合もある。

### 【評価方法】

毎時間の評価及び課題と試験の結果で評価する。試験は本講座で学んだ基礎知識の確認と、予め与えた課題から出題する。配分は毎時間の授業評価3割、課題3割、テスト4割。また、授業に取り組む姿勢や意欲も重視する。場合によっては加点・減点することがある。

### 【テキスト】

『沖縄から見える歴史風景』新城俊昭著（編集工房東洋企画発行）。『琉球・沖縄 歴史人物伝』新城俊昭著（沖縄学販発行）。他（プリントで配布または毎時間授業で紹介）

### 【参考文献】

『琉球・沖縄 歴史人物伝』新城俊昭著（沖縄学販発行）。他（プリントで配布または毎時間授業で紹介）

## 沖縄の歴史 I (前近代)

担当教員 田名 真之

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

沖縄の前近代史(古琉球から琉球処分期まで)について学習する。通史と個別テーマで古琉球と近世琉球の歴史と文化について、中国、日本など対外関係も視野に入れながら考える。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	1. 総論・講義の概要
2	2. 初期王統一舜天・英祖・察度各王統の系譜
3	3. 古琉球王国の成立ー尚巴志の三山統一 第一尚氏政権
4	4. 古琉球王国の展開ー尚円・尚真の時代 第二尚氏政権
5	5. 大交易時代ー中国冊封体制と海外交易の展開ー日本・朝鮮・東南アジア
6	6. 島津侵入ーその背景と島津の支配
7	7. 羽地朝秀と「羽地仕置」ー古琉球から近世琉球へ
8	8. 蔡温の国づくりー近世琉球の確立
9	9. 土と農ー身分制の社会
10	10. 墓をめぐるアラカルトー意匠、厨子甕、風水etc
11	11. 冊封と冊封使録
12	12. 江戸上りー幕藩体制下の異国琉球
13	13. 近世の中国貿易
14	14. 外艦渡来ーバジル・ホール、ベッテルハイム、ペリー
15	15. 琉球処分ー琉球王国の滅亡
16	テスト

### 【履修上の注意事項】

遅刻しないこと。質問は積極的に。

### 【評価方法】

試験の成績で評価

### 【テキスト】

講義でプリント配布。

### 【参考文献】

安里進他『沖縄県の歴史』（山川出版社）、豊見山和行編『琉球・沖縄史の世界』（吉川弘文館）、その他参考文献は適宜紹介